

電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

第260号

令和8年

(2026年)

発行 8月31日

年4回発行

発行

全国電子部品流通連合会

東京都文京区湯島3-6-1

<https://www.jep.gr.jp/>

電話 東京 03(3832)4295

企画編集 家電流通研究センター



CEATEC 2026、10月13日に開幕

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）は、10月13日～16日に掛け、幕張メッセ（千葉県）で「CEATEC 2026」を開催する。今展もAIをキーワードにした様々な展示に加え、「Japan Mobility Show Bizweek 2026」も併催される（写真はCEATEC 2025のJEITA 半導体ブース）。

■全国電子部品流通連合会／各地区総会・情勢報告

- 東京都電機卸商業協同組合（TEP）
- 近畿電子部品卸商組合（KEP）
- 中部電子部品流通業協議会（CEP）
- 関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）
- 中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP）
- 九州電子流通業協議会（KRP）

CONTENTS

◎ J E P / 各地区団体の総会や活動	2
◎ C E A T E C 2026	7
◎ J E P / 7 月度理事会	8
◎ 誌上名刺交換会	10
◎ 電子機器トータルソリューション展2026 E C U S h o w	12

JEP 全国電子部品流通連合会

JAPAN FEDERATION OF ELECTRONIC PARTS DISTRIBUTORS & DEALERS



J E P / 各地区団体の総会や活動

東京都電機卸商業協同組合、近畿電子部品卸商組合、中部電子部品流通業協議会、関東甲信越電子制御部品流通協議会、中・四国電子制御部品流通協議会、九州電子流通業協議会は2026年度の総会を実施した。また一部団体も後日、総会を実施する。各地区団体の総会や活動などについて紹介する。

東京都電機卸商業協同組合

会員企業とチーム力強化を目指す

東京都電機卸商業協同組合（TEP）の屋宮芳高理事長は、2026年5月8日、上野東天紅で第77回通常総会を開催し、開催の挨拶で次のように語った。

「日本政府は半導体産業の育成を掲げているが、半導体産業にとどまらず、できるだ

け多くの分野において国内産業を強化することが極めて大切であると考えています。我々の業界においても、このように不安定な時代だからこそ、単独の企業だけの力ではなく、組合としての連携力が重要になって参ります。我々、TEPには100を

超える会員企業様が所属されています。その個々の力を結集して発信力を向上させ、さらに全国の会員企業とのチーム力の強化を目指していきたいと考えています。

組合同士の連携強化はもちろんのこと、他業界とも連携を果たすことで市場の拡大を図っていききたいと考えています。そのためには、現在も進めているように、電子情報技術産業協会や日本電子回路工業会との連携を絶やすことのないように努め、他の産業分野においても積極的に連携を推進して参ります。

さらに、日本国内の市場だけでなく、海外市場にも広く目を向けていきたいと考えています」。

この後、渡辺勤務事務局長が総組合員数109名の内、出席者が35名、委任状提出者が38名、計73名となり、総会が成立することを報告。

議長には屋宮理事長が選出され、総会で全議案を承認した。

今後の活動については、「新たな事業の創設、組合員相互の意思疎通と加入企業への経営に貢献できる参加型事業を推進することにより、組合

の役割を達成する」といった事業計画に基づき、理事会の開催に加え、組織増強や会員交流、さらには新入社員向け研修や生成AIなどの各種研修・講演、展示会への参画といった様々な活動を、組織・会員サービス・教育情報・イノベーションの各委員会が推進していくことなどが確認された。

続いて、来賓の東京都中小企業団体中央会参事の橋北隆氏、全国電子部品流通連合会副会長の江見佳之氏、香港貿

易發展局東京事務所所長の伊東正裕氏、日本電子回路工業会事務局長の高原邦夫氏から祝辞が述べられた。

江見副会長は原油関係の問題を挙げた後「私どもの業界で1番問題になるのは物流関係、そして今後の商品の供給になってくると思う。

商品の供給不足を懸念する声が多く、数年前のパニック発注時の混乱が頭をよぎっている状況である。

しかし、混乱状況を色々と経験されてきた。不安事項は



総会後に永年勤続社員を表彰



懇親会も開催



屋宮理事長

あるが、一緒に乗り切っていると思っている。

JEPとしては、それぞれの地域で強みを持つ企業の加盟する単組の皆様と地域を越えた情報共有や協力体制を進めることが、日本の産業全体のレジリエンスを高めることに直結すると思っている」などと語った。

永年勤続表彰を実施

この後、永年勤続者表彰感謝状の贈呈式が行われた。

屋宮理事長は、永年勤続者向け「長い間、本当にご苦勞様でした。色々な意味でこの業界が皆さんの人生に対して、良くも悪くも糧になったかと思う。

後輩もたくさんいる。その後輩を育てる意味においても、ぜひこの業界で引き続き貢献をお願いしたいと思う」と激励し、10年以上勤続表彰では8社17名、20年以上勤続表彰では11社18名、30年以上勤続表彰では6社13名、40年以上勤続表彰では5社8名を表彰した。

この後、松本年生副理事長

が総会と永年勤続表彰への参加者に御礼した後「経験のある方々にこの業界を引っ張っていただき、発展に向けて皆さんにもご協力していただ

ればと思う」と語り、総会を終了した。

続いて、会場を移して懇親会も開催され、盛大な盛り上がりを見せた。

近畿電子部品卸商組合

新たな価値を生み出す舞台を提供

近畿電子部品卸商組合（KEP）の江見佳之理事長は、同会の活動について次のように語った。

全国の電子部品流通業界の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はKEPの事業活動ならびに業界の発展に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず始めに、本年7月に発生いたしました「令和8年熊本地震」により被災された皆様、ならびにご家族や関係者

の皆様は、心よりお見舞いを申し上げます。

被災地域の1日も早い復旧・復興と、皆様の安全を組合員一同、深くお祈り申し上げます。

さて、当組合の第62回定時総会におきましては、当初6月3日に会場開催を予定しておりましたが、大型の台風6号の接近に伴い、皆様の安全を最優先に考慮いたしました結果、苦渋の決断として会場開催を中止とさせていただきます。

皆様にはご迷惑をお掛けしましたことをご詫言申し上げますとともに、当組合の急な判断に温かいご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

これに伴い、本年度の総会

審議は郵送による「書面決議」と切り替えさせていただきます。

また、順延となっておりました特別セミナー及び新設員披露を兼ねた懇親会につきましても、去る7月15日にホテルグランヴィア大阪にて開催いたしました。全国電子部品流通連合会（JEP）ならびに東京都電機卸商業協同組合（TEP）の会長兼理事長でいらつしやいます屋宮芳高様を始め、多くのご来賓の皆様、会員各位約60名のご出席をいただき、大変盛況の内に親睦を深めることができました。

また、順延となっておりました特別セミナー及び新設員披露を兼ねた懇親会につきましても、去る7月15日にホテルグランヴィア大阪にて開催いたしました。全国電子部品流通連合会（JEP）ならびに東京都電機卸商業協同組合（TEP）の会長兼理事長でいらつしやいます屋宮芳高様を始め、多くのご来賓の皆様、会員各位約60名のご出席をいただき、大変盛況の内に親睦を深めることができました。

現在、私どもを取り巻く外部環境は、まさに「先行き不透明」「予測困難」な時代が続いております。

異常気象や緊迫する中東情勢に伴う原油・原材料の高騰、調達における供給リスクなどは、現場にも大きな影響を与

えています。足元の関西経済におきましても、中国経済の減速等による下押し圧力が懸念されるところです。

しかしその一方で、大阪市内における梅田北ヤード開発や夢島・なにわ筋線のインフラ整備が進み、何より企業のAI活用や自動化・IoTを始めとする「デジタルトランスフォーメーション（DX）」への需要は急速に高まっています。

この大きな変革期こそ、私

KEPでは見学会なども実施（二子コン亀岡工場の見学）



たち電子部品業界にとつては新たな付加価値を生み出し、次の成長へと舵を切る絶好の機会であると確信しております。

当組合におきましては、本年度も「広報」「教育研修」「業界発展促進」「会員交流」の4つの専門委員会ががっちりスクラムを組み、会員の事業に直結する活動を精力的に推進して参ります。

今期の活動といたしましては、7月11日に大阪科学技術センターにて恒例の親子向け「電子工作教室」を開催し、37組の親子にご参加いただき大盛況となりました。

また9月10日・11日に掛けでは、最大の目玉事業であります「TEP・KEP 合同視察研修会」を予定しております。

TEPの屋宮会長始め関係皆様のご尽力により、国会議事堂の非公開エリア特別見学ツアーや、名門・我孫子カントリークラブでのゴルフコンペなど大変、魅力的なプログラムで準備を進めております。すでにKEPからも約17名

が参加予定ですが、東西の強固なネットワーク構築に向け、大変な期待を寄せております。

さらに秋以降も、11月の交友会ゴルフコンペや忘年会などの親睦行事の開催に加え、業界発展促進委員会を中心に、大阪商工会議所や官公庁とも連携した「スタートアップ企業とのコラボレーション事業」に熱く取り組んで参ります。

組合の最大の使命は、会員の皆様が企業の垣根を越えて率直に語り合い、刺激し合い、新たな価値を生み出す舞台を提供することです。

新体制の下、地域や団体の枠組みを越えた交流を一層、活性化させて参りますので、全国の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、電子部品流通業界のますますのご発展と、加盟企業各社の皆様のご健勝とご隆盛を祈念いたしまして、当組合からの近況報告とさせていただきます。

中部電子部品流通業協議会

AI活用の実践、会員の価値向上を目指す

中部電子部品流通業協議会（CEP）の坂明憲会長は、同会の活動について次のように語った。

CEPは、2026年4月22日に第48回定時総会をTHE TOWER HOTEL NAGOYAにて開催し、会員企業・賛助会員・来賓を合わせ46名の皆様にご参加いただきました。

総会では2025年度事業報告・決算報告、2026年度事業計画・収支予算ならびに役員改選について審議し、全議案をご承認いただき、新たな年度がスタートいたしました。

昨年度よりCEPでは、電子部品流通業を取り巻く環境

変化への対応として「生成AI」の活用を目指して取り組みで参りました。AI委員会では会員企業による試験運用を実施し、生成AI検索や在庫情報共有などの意見交換を通じて、営業活動や業務効率化への活用方法を検証してきました。

2026年度は、この成果をさらに発展させ、「主要AIツールを営業活用するための研修」を全3回開催する計画としており、実務に直結する知識とノウハウを会員企業へ提供して参ります。

また、CEPの研修以外の活動として、7月8日に第40回CEPボウリング大会を開催し、13社20チーム80名の参加で実施いたしました。

このボウリング大会は、会員企業や世代を超えた交流の場として毎年好評をいただいております。会員相互の信頼関係を深める貴重な機会となりました。

こうした親睦活動は、情報共有や新たなビジネスにつながる会員企業間の信頼醸成の場となっていると感じております。

さて、電子部品流通業界を取り巻く環境は、地政学リスク、サプライチェーンの変化、人手不足、DX・AIへの対



坂会長



総会では懇親会も開催



CEPボウリング大会



柳田会長

関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）の柳田佳克会長は、同会の活動について次のように語った。

NEP会の活動状況についてですが、当初は6月に総会を開催する予定でしたが、各

親睦会など会員のつながりを強化

関東甲信越電子制御部品流通協議会

CEPでは、「流通の近代化を促進し、会員相互の親睦と健全なる発展を目指す」という設立理念の下、AI研修会、親睦企画などを通じて会員企業

応など、依然として大きく変化しています。そのような時代だからこそ、1社だけでは解決できない課題を会員企業同士が共有し、学び合い、協力し合う場として各単組の役割はますます重要になっていきます。

CEPでは、「流通の近代化を促進し、会員相互の親睦と健全なる発展を目指す」という設立理念の下、AI研修会、親睦企画などを通じて会員企業

メーカーのスケジュールや会員各社のご都合等を考慮し、現在日程の再調整を行っていることから、今後の予定を報告いたします。

NEP会といたしましては、秋口9月以降に総会、親睦会を予定しています。

また11月以降、涼しくなるころにゴルフコンペを関東近郊で開催したいと考えています。

引き続きTEPと連携しながら、多種多様な講習会など

を企画参画していけたらと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

現在、NEP会の会員は13社、賛助会員は3社で計16社であり、引き続き会員拡大に向けて活動して参ります。

NEP会地区情勢

地区情勢については、高市政権による積極財政による省人化、自動化の設備投資やカーボンニュートラルに向けた開発、並びに物価高対策により景気改善を期待したいところです。

長野県においてはデータセンター等の建設需要として、GPU需要を見据えた次世代コンテナ型データセンター「Cube Park NAGANO」を開設。また今後は秋田県においてもGPUデータセンターの開設に向けての動きがあるように、ますますAIサーバー等の処理能力向上や省電力化に資する先端半導体・次世代メモリや生成AIの開発、さらにデータセンター向けの設備投資に商機を見つけたところだ。



中野会長

中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP）は2026年4月15日、広島市東区にある料亭の二葉で「第43回定時総会」を開催した。会員企業20社15人が参加し、2025年度の事業報告や、26年度

定例会で情報共有と連携を深める

中・四国電子制御部品流通協議会

北関東において、半導体関連企業が景気を底支えしている一方で、茨城県、栃木県、群馬県を中心としたエリアには自動車関連のメーカーや、そこに連なる中小企業が多数存在していますが、自動車関連製造業の実態を見ると設備投資の先送りなど弱さが目立っております。

今後は外部環境の変動にも左右されますが、EV（電気自動車）やハイブリッド車な

どの電動化の進展スピードと、それに伴う新ライン増設・再編計画の動向が今後の大きな鍵を握るだろうと言われており、注視しているところです。

このように、地域的には自動車関連産業がまだまだ厳しい状況ですが、各自動車メーカーにおいても何らかの動きが出てくるはずですので、今後の景気を支えられることに期待したいと考えています。

の事業計画など、全議案を可決承認した。

冒頭、挨拶に立った中野和久会長は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰でICやメモリーの価格が3〜5倍以上になっていることに触れ「これからは、単なる価格対応にとどまらず、安定供給の確保や付加価値の提供がより一層求められる。」

CSEPとしても、情報共有と連携を深め、環境変化に強い業界づくりに取り組んで



CSEPの総会の様子

いきたい」と語った。

また、国産AI(人工知能)

の開発や、デンソーが電気自動車(EV)の無線給電システム技術の確立を目指していることに触れ、「これらを実現するために、電子、制御部品は不可欠。中東情勢などで厳しい状況だが、我が電子制御流通協議会は不減だ」と激励した。

総会では、25年度の事業報告や26年度の事業計画などについて協議。

25年度は定例会や全国電子部品流通連合会(JEP)の屋宮芳高会長との意見交換などを行った。26年度も引き続き、定例会や賀詞交歓会など

を実施するほか、勉強会も開催予定だ。

総会後は、記念講演を実施。プロ自転車ロードレースチーム「ヴィクトワール広島」の元選手で、現在はチーム運営とスクールコーチをしている柴田雅之氏が登壇し、「アーバンサイクルパークス広島から始まる、新たな挑戦」をテーマに講演を行った。

ヴィクトワール広島が競輪やBMX、スケートボードなどのスポーツの拠点「アーバンサイクルパークス広島」に拠点を移した経緯や、チームやスクールを運営する上での課題などを語った。

なおCSEPは、毎月第3水曜日に年間9回の定例会を開催。これに加えて1月には新春賀詞交歓会、4月に定時総会を開催しており、年間計11回に渡り会員が一堂に会する機会を設け、情報交換や交流を深めている。

直近の活動では、5月20日の定例会で、この度CSEPの副会長に就任いただいた久城康裕社長が率いる松本無線パーツ様の関連会社である、

松本無線パーツ岩国の石川雅士社長より自社開発商品の紹介をいただいた。

6月17日の定例会では、電波新聞社大阪支社の木原氏を招き、「関西エレクトロニクス業界の現状」と題して講演をいただいた。

九州電子流通業協議会

eスポーツ等で懇親を深める活動

九州電子流通業協議会(KRP)の伴野豪会長は、同会の活動について次のように語った。

最初に、令和8年熊本地震で被害にあわれた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

また九州電子流通業協議会(KRP)の会員、賛助会員におきましては、大きな被害を受けたという話は入って



伴野会長

関西圏における最新の経済動向や主要電子部品メーカーの業績報告に加え、当会会員である岡本無線電機様や東亜無線電機様の最新の取り組みについても紹介していただき、着実な事業拡大の状況について知ることができた。

現在、KRPは正会員9社、賛助会員6社で活動しています。本来であればKRPの総会を終了している時期ではありますが現在、会員間での調整を行っており、場合によっては書面総会を行うつもりでいます。

KRPの活動を振り返ると、2025年の8月には福岡エレクトロニクス交流会さんと福岡市機械金属工業会さんと合同で2回目となるeスポーツ大会を開催し、我々もチームKRPとして参加いたしました。

また26年1月には、福岡エ

レコン交流会さんと福岡市機械金属工業会さんと3団体合同での賀詞交歓会を開催いたしました。

この時、福岡市中央区にある鳥飼八幡宮の山内圭司宮司を講師に招き、その取り組みとしてSNSを積極的に発信することでインスタグラムのフォロワーは1万7千人名を超えていることなどをお聞きしました。この背景には境内は老朽化し、参拝や祈願も減っていたことで危機感を抱き、顔となるホームページの作成や縁結びの会、縁日の延長として肉フェスや毎月のマルシェ、メタバース神社も創建されたそうです。

また、これらは鳥飼八幡宮で発案されたそうで、その発想がどこから生じたものなのかもお聞きし、学ぶことが多いものとなりました。

今後のKRPの活動予定については、福岡エレクトロニクス交流会さんと福岡市機械金属工業会さんと連携し、KRPの会員企業が楽しめ、さらに交流を深めることができるイベントを実施したいと考えてお

り、9月4日に3団体合同によるeスポーツ大会を開催する予定です。

また秋頃にはKRPとして会員企業同士の親睦を深めるため、レクリエーションの開催を検討しています。

これ以外に、27年1月には合同で賀詞交歓会を実施する

予定となっております、会の友好を深めて参ります。

最後に九州地区の動向ですが、令和8年熊本地震では最大震度7を受けました。

熊本市南区に川尻工場を持つルネサスエレクトロニクスでは、3週間を目途に震災前の生産まで復帰させるとして

います。

菊池郡菊陽町にイメージセンサー量産拠点である熊本テクノロジーズセンターを持つソニーは、段階的に操業を開始しており、8月中旬には地震前の水準に戻すとしています。

また菊陽町にあるTSMC

CEATEC2026

10月13日～16日まで開催

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）は、2026年10月13日～16日までの4日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）にて「CEATEC2026」を開催する。

今回で27回目の開催となるCEATEC2026は、国内最大級のデジタルイノベーション総合展。

CEATEC2026の

展示エリアは、社会課題解決に向けたテクノロジーやソリューション等の「一般展示エリア」に加え、先端技術や社会課題への挑戦、産業・社会構造の変革をテーマごとに発信する「Xパーク」では、AI（生成AI／フィジカルAI／量子／次世代通信／ロボティク

ス）やサステナブル（GX／脱炭素）などを展示する。

JEPPも出展、名簿を配布

全国電子部品流通連合会

（JEP）は、CEATEC

Cに出展し、「JEP会員名簿」やオリジナルエコパッ

グを配布することで、JEP

をアピールしている。

CEATEC2026にもJEPブースを出展する予定なので、CEATECに来場の際は、ぜひともJEPブースに立ち寄ってほしい。



eスポーツ大会の様子

の製造子会社であるJapan Advanced Semiconductor Manufacturing (JASM)も震度5強を受けたが、地震後の建物の構造検査は完了し、操業を段階的に再開しています。

経済産業省によると、熊本県の停電は復旧が進み、都市ガスも家屋倒壊や液状化の深刻な区域を除き、8月中旬には概ね復旧する見通しとなりました。また帝国データバンクによると、九州の景気動向は半導体工場関連や都市部のマ

ンション需要を背景に、2カ月連続で改善しているとのことですが、熊本地震によって今後の地域経済への影響が懸

念されています。

九州といえはここ数年で半導体工場のイメージが強くなりましたが、装置、材料、電子部品、物流、人材まで含めて動き始めています。

そういった意味では、改めてシリコンアイランドとしての存在感を取り戻しつつある状況だと感じています。

しかし、そこで問題となっていることに、部材不足や人手不足が挙げられます。

特に人手不足は大きな問題となっており、製造の現場では、どこも人が足りないと言われています。

そういった背景もあり、商社が実務の一部を担う存在としてより求められ始めているように感じており、こうしたニーズに対応力を持つことが、生き残りにつながっていくのではないかと感じています。

最後になりましたが、今年度もKRPは様々な関連団体と連携を深め、会員向けのイベントなども充実させることができるよう、取り組んで参ります。

JEP7月度理事会

家電会館で10月9日に総会を開催

全国電子部品流通連合会（JEP）は7月7日、オンラインミーティングツールで7月度の理事会を開催した。

開催に当たり、屋宮芳高会長は「最近の業界動向といったしましては、AIに関連してデータセンターやフィジカルAI、AIエージェントなどの分野が非常に活況を呈しており、我々の業界もだいぶ活況が出てきました。」

その一方で、一部の製品が入手しづらくなっている旨のアナウンスや、毎日のように価格値上げの案内が届いている状況です。本日は、こうした事情も含めて、様々な情報を共有したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

また、経済産業省を訪問する予定があります。

もし経済産業省に対して、要望や聞き取りを行ってほしい事項などがあれば、ご連絡いただけると幸いです。可能な限り情報を収集したいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします」などと語った。

理事会では、次の項目について審議が行われた。

報告および提案事項

続いて、議長に屋宮会長を選出し、渡辺勤事務局長から次の議題について、報告と提案が行われ、すべて承認され

た。

①積立共済年金制度の地区別加入状況報告では、各単組の加入状況、地区還付額などについて報告。

②PL保険の加入状況報告では、9社が加入していることなどを報告。

③『2027年JEP名簿』協賛広告については、7月1日時点での申し込み状況について報告。

④「電子機器トータルソリューション展2026（ECU Show）」の報告では、来場者数が4万9206名となったことに加え、出展者数が542社、小間数は1421小間となった。

また来年度の電子機器トータルソリューション展2027を、2027年6月2日（4日）に掛け、東京ビッグサイト東展示棟で開催する予定であることを報告。

⑤CEATEC2026につ

いては、10月13日（16日）に掛けて幕張メッセで開催され、JEPとしても出展し、『2027年JEP名簿』等を配布することを報告。

⑥2025年度収支決算（2025年9月～2026年6月）中間報告については、2026年6月時点の貸借対照表と収支決算中間報告書を基に説明。

⑦2026年度（2026年9月～2027年8月）収支予算（案）については、2025年度決算確定後、収入・支出の予定額に変更が生じるため、10月度理事会等で改めて審議を行うことが提案された。

⑧第52回通常総会次第及び役割分担（案）については、2026年10月9日に14時30分から全国家電会館5階で開催を予定していることを報告。

また同日の総会前の14時から、同会館1階会議室で理事

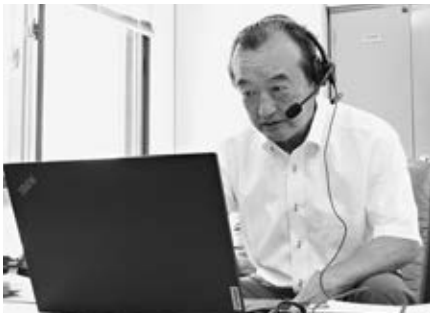
会を開催することを提案。

さらに、各理事らの総会での役割についても提案が行われた。

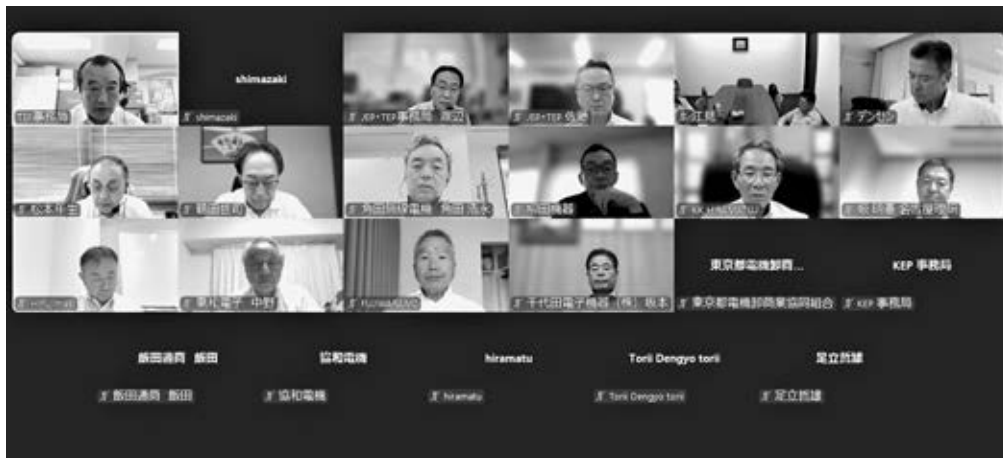
⑨役員改選（案）についても提案が行われた。

この後、各地区情勢報告が行われ、東京都電機卸商業協同組合からは松本年生専務理事、近畿電子部品卸商組合からは江見佳之副会長、中部電子部品流通業協議会からは坂明憲副会長、関東甲信越電子制御部品流通協議会からは柳田佳克理事、中・四国電子制御部品流通協議会からは中野和久理事らが、活動報告と地区情勢の情報を伝えた。

最後に屋宮会長は「報道でも半導体製造装置の売上高が今年、来年と引き続き伸びていく旨が発表され、再び一部の部品で不足が生じる可能性や、中東情勢等の影響により製品が入手しづらくなる懸念も想定されます。こうした事



挨拶する屋宮会長



JEP 7 月度理事会の様子

態にご注意いただき、事業を進めてほしい」と語った。

また「全国家電会館が老朽化に伴い、近隣に新築で新会

移転先は、当家電気館の隣にある駐車場や既存ビルを解

館を建設し、完成次第、引越す予定となつたことについて報告があります。

体し、その跡地に新たな家電館を建設する。新ビルの完成は来年の12月頃を予定。新築建物が竣工した段階で現在の建物から直接移転を行い、新拠点にて業務を開始するの
で、再来年の正月は新しい建物で迎えることになります。

全国家電 会館は築60年以上が経過し、老朽化が進んで

なお、新会館は現在の建物と完全に同等の規模というわけではないため、展開する事業内容にも若干の変更が生じる可能性があります

いた。当初は現地での建て替え構想もあったが、たまたま土地の購入を希望する事業者が」と語った。

現れ、売買 最後は今後の予定として、
契約を締結 9月15日に監事会を全国家電
した。これ 会館4階で開催、次回の理事
に伴い、新 会が10月9日の総会当日、14
たな場所へ 時から家電会館1階で開催
移転する計 し、理事会終了後に総会へ移
画で進めて 行する予定であることが報告
います。 され、理事会は終了した。

この度の「令和8年熊本地震」により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、ご遺族の皆様にご挨拶申し上げます。

また、被災されたすべての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。現地におかれましては、余震や不安な日々が続いていることと存じますが、皆様の安全と、被災地の1日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

全国電子部品流通連合会

残暑 お見舞い 申し上げます

飯田通商株式会社

会長 飯田和信
社長 山崎隆博

〒101-0021 東京都千代田区外神田三十九-13
電話 〇三-三二五七一-三二一

岡本無線電機株式会社
おおとり株式会社

代表取締役社長 岡本 崇義



〒556-0005 大阪市浪速区日本橋四-八-四
電話 〇六-(566) 四六七-(代表)

電器・電子部品の総合卸商社

角田無線電機株式会社

代表取締役社長 長 澤 雅 裕

本社 東京都千代田区外神田3-14-10
電話(〇三) 三二五三一-八二一(代)



三信電気株式会社

代表取締役社長執行役員 (CEO)

鈴木 俊 郎

〒108-8404 東京都港区芝四-四-十二
電話 〇三-(383) 五二二(代)

株式 三和コネクタ研究所

代表取締役 北 裕一郎

〒164-0002 東京都中野区上高田三二-一〇
電話 〇三-(383) 一一六一(代表)

大和無線電機株式会社

取締役 堀 内 優 覚
代表取締役社長 堀 内 優 覚

〒113-0034 東京都文京区湯島三三-三八
電話 〇三-(584) 八三六一
FAX 〇三-(383) 三二一一

中央無線電機株式会社

取締役会長 藤 木 正 則
代表取締役社長 藤 木 愛



〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-3-7
電話 03-5117-1144

千代田電子機器株式会社

代表取締役社長

小 口 一 輝

〒101-0021 東京都千代田区外神田三三-一九
電話 〇三-(353) 九五六一

 代表取締役 樋口 亘 〒107-0062 東京都港区南青山五十一番六 電話 03(3409)6166(代)	 Automation for Human 代表取締役社長 兵藤 隆一郎 〒101-0011 東京都千代田区外神田二一〇一九 電話 03(3253)7571(代) https://www.tois.co.jp	代表取締役社長 岡崎 孝宣 〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和一四一三〇 電話 048(856)3851 株式会社 東京理工舎	 代表取締役社長 江見佳之 〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西二一四一五 電話 06(604)0117(代表)	東亜無線電機株式会社
株式会社 家電流通研究センター 『電子部品流通』編集部 皆様の清栄を 心からお祈り 申し上げます	 https://www.lex.co.jp ISO 9001 認証取得 ISO 14001 認証取得 代表取締役社長 竹村 元香 〒101-0011 東京都千代田区外神田三丁目九十二 電話 03(3253)0411 株式会社 丸三電機	 代表取締役社長 浜田 健太郎 〒103-0013 東京都中央区日本橋本町三十九四 電話 0356517351 https://www.hamada-dk.com/	浜田電機株式会社	
皆様のますますのご発展を 心よりお祈り申し上げます 全国電子部品流通連合会				

電子機器トータルソリューション展2026

JEP・TEPから11社が参加

電子機器トータルソリューション展2026 (JPCA Show) が6月4日～6

日の日程で、東京ビッグサイト東展示棟で開催され、4万9206名が来場した。

同展は、全国電子部品流通連合会 (JEP) と東京都電機卸商業協同組合 (TEP) からの参加企業によって実施される「Electronics Component & Unit Show (E CU Show)」に加え、

第55回国際電子回路産業展、

第40回最先端実装技術・パッ

ケーシング展、第27回実装ブ

ロセステクノロジー展、AI

デバイス展、電気・光伝送技

術展、イーテキスタイル／ウ

エアラブル展、半導体産業展

とOSAT Solution

Show によって構成さ

れる展示会。

初日は開会式も行われ、テ

ープカットも実施された。J

EPとTEPを代表して屋宮

芳高会長がテープカットに参

加した。

26年展は11社が参加

なお今回のE C U Show

には、JEPからは岡本無

線電機、東亜無線電機、ツル

タ制御機器、成電社 (順不同)

の4社が参加。

またTEPからは三共社、

ジュパ、メトロ電気、アール

電子、日川電機、飯田通商、

グローバルディスプレイ (順

不同) の7社が参加し、来場

者に説明と提案を行った。

事務局も参加し、花岡無線

電機と浜田電機の協力を得て

『JEP会員名簿』とリニュー

アルした特製エコバッグを

配布。出展企業もJEPのロ

ゴが入った特製エコバッグを

身に付け、来場者に自社製品

の説明をする姿があちこちで

見られた。

なお開催初日には、出展企

業と業界関係者らが参加する

ウェルカムレセプションを実

施。屋宮会長が参加し、鏡開

きも行われた。

様々なセミナー等も盛況

なお、JPCA Show

では、様々な講演やシンポジ

ウムも実施された。

同展が他ではゼッタイ聞け

ないと訴求した「主催者セミ

ナー」では、村田製作所の「初

出展！中空構造で超低損失基

板を実現 U L T I C I R

C」、パナソニックインダス

トリーの「既存PCB工程&

フィルム型基板材料を活用し

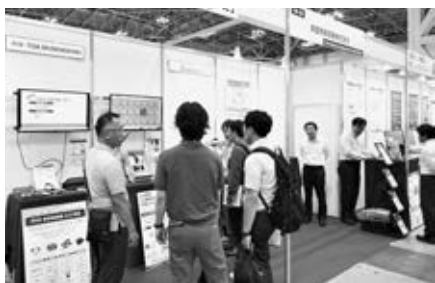
たプリント配線板の高周波対



テープカットする屋宮会長 (手前左)



岡本無線電機ブース



東亜無線電機ブース



ツルタ制御機器ブース



成電社ブース



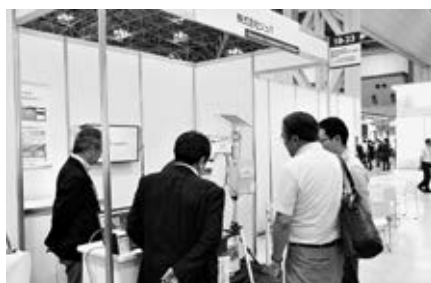
アール電子ブース



三共社ブース



日川電機ブース



ジュパブース



飯田通商ブース



メトロ電気ブース



グローバルディスプレイブース



JEP・TEPブース



27年展のポスター

応・微細化対応」、NPO法人南知床・ヒグマ情報センターとマクセルフロンティアなどの講演や座談会を開催。

基調講演ではキオクシア岩手による「AI時代を支えるフラッシュメモリー戦略と次世

代製造」、OMDIAによる「2030年に向けて加速度的に拡大する半導体市場、AI投資は継続するのか?」、アムコー・テクノロジー・ジャパンによる「日本の実装技術で、世界をつなぐ」など

様々なものが行われ、注目の講演ということもあり、人気となった。この他にも、「高機能・高密度化を実現する配線板製造技術」、「応用広がる3次元実装技術の最新動向」、「モビリティエレクトロニク

スの現状」車載と宇宙産業機器における実装技術」などをテーマにした最先端実装技術シンポジウムや、様々なプレゼンテーションも行われた。

2027年のJPCAS how開催日も決まった。東京ビッグサイトで2027年6月2日～4日の日程となる。

ぜひ、自社のアピールに活用してほしい。

2027年展は6月2日開幕

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点

中国：香港、深圳、成都、広州、重慶、武漢
上海、大連、合肥、杭州

タイ：パドムタニ、シラチャ、ランブーン、ピサヌローク
マレーシア：クアラランポー、ジョホールバル、ペナン
ベトナム：ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場

中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ローム	シャープ	ニチコン
ソーセミ	タムラ製作所	岡谷電機産業	タムラ製作所
東京コスモス電機	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレクト	シーアイエス

飯田通商株式会社

IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co., Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213
<https://www.iida-tusho.co.jp/>



NNP GROUP

Living & Working Together

NNP株式会社

<https://www.nnp.co.jp/>

営業品目：電子部品、電子ユニット、電池、モータ、FA等の販売
OEM・ODM・設計開発の請負

本 社：名古屋市中村区名駅3丁目19番14号 第2名古屋三交ビル14F
〒450-0002 TEL:052-561-2571(代) FAX:052-561-2595

営業拠点：東京・静岡・大阪・広島・中国・香港・タイ

関連会社：NNP電子株式会社

取扱メーカー：パナソニックグループ各社・(株)村田製作所・京セラ(株)
ニチコン(株)・ミネベアミツミ(株)・新旭電子工業(株) 他

HAMADA

制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



FA 制御部品

独創的なアイデアで
お客様のニーズに応える



PC周辺関連機器

浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL:03-5651-7351(代表)

秋葉Direct TEL:03-6825-3180 <https://www.akibadirect.com/>

<https://www.hamada-dk.com/>

"No where, Now here"

～どこにも無いもの 今ここに～

千代田電子機器は、半導体・電子デバイスの専門商社として
長年の経験と技術を培い、お客様のニーズに応じた
ソリューションを提供しております。
電子デバイス販売・購買代行・設計・EMS事業の
サポート体制を柱にお客様と社会へ貢献いたします。



CES	海外営業・購買窓口 シンガポール	CEH	海外営業・購買窓口 香港	CSH	海外営業・購買窓口 上海
CDC	通信機器 設計・製造 株式会社コーデック	MES	国内ASSY工場 株式会社エムイーエス	PST	GPS関連商品開発 ポジション株式会社



千代田電子機器株式会社

CHIYODA ELECTRONIC CO., LTD.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-9 TEL:03-3253-9561
U R L: <https://www.cec-chiyoda.co.jp>

主要取扱メーカー

パナソニック / ミネベアミツミ / ロジックジャパン
NKKスイッチ / 釜屋電機 / ポジション / コーセル
小峰無線電機 / その他 海外・国内メーカー多数



電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp

お客様のニーズに合った
最適なソリューションを
ご提案いたします



 **角田無線電機株式会社**
KAKUTA RADIO & ELECTRIC CO.,LTD.
<https://kakuta.co.jp>

電子営業部

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-38-16(菱町ビル3階)
TEL 03-6859-2600
FAX 03-6859-4940 (お見積)
FAX 03-6859-4941 (ご注文)

“つなぐ” TOMINAGA

～創業77年／部品調達から販路拡大までワンストップでご支援します～



富永電気株式会社 TEL 03-3255-0821 / FAX 03-3255-0856

本 社：〒101-0021 東京都千代田区外神田2-11-8 富永ビル
仙台営業所：〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3-34-1

▶ 便利な通販サイト  福永電業

エレクトロニクスの
総合商社です

www.daiwa-musen.com

即納品5000品目からお選びください

大和無線電機株式会社
ISO14001 JQA-EM3267

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-8

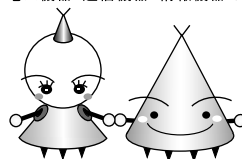
TEL 03-5846-8361 FAX 03-3834-3211

特約代理店

オムロン・サンケン電気・SMK・ミネベアミツミ
GSユアサ フィールディングス・ニデックコンポーネンツ
日精電機・ホーザン・センサータ・キムラ電機・KOA

東亜無線電機株式会社

電気部品・電気機器・通信機器・情報機器の販売商社



人と情報のネットワークを広げる東亜無線のヒューマンテクノロジー

<https://www.toamusen.com/>

本 社 〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-4-5

T E L 06-6644-0117

販 売 拠 点 国内／大阪、京都、滋賀、名古屋、関東

関 連 会 社

東亜電子工業株式会社
東亜無線(香港)有限公司
上海埃萊夏科貿易有限公司
TOA MUSEN VIETNAM CO.,LTD
EPE (THAILAND) CO., LTD



お客様のニーズに応える
エレクトロニクス専門商社

主要取扱商品

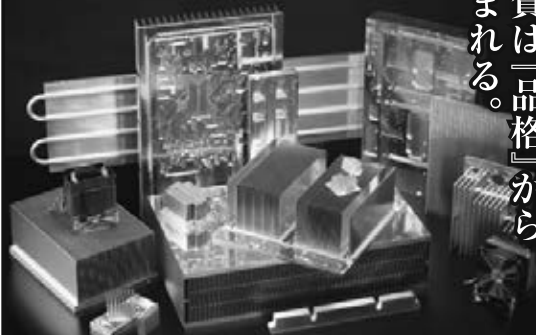
◆電子部品・機器 ◆基板・実装
◆光部品・機器 ◆環境・省エネ機器

 **日昭無線株式会社**
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-13-1

電子営業部 03-3255-6691

<https://www.nmk.co.jp>

LEXMARUSAN
<https://www.lex.co.jp>



株式会社 丸三電機

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 Tel.03-3253-0411 Fax.03-3253-1935



岡本無線電機株式会社
OKAMOTO ELECTRONICS CORPORATION

本社 〒556-0005大阪府浪速区日本橋4丁目8-4 TEL.06(6643)4671(代) <https://www.okamotonet.co.jp>
 大阪営業本部 06(6327)1133 東京営業本部 03(3412)8211
 名古屋営業本部 052(249)3820 販売促進本部 06(6327)1461
 関連会社 おおとり株式会社(国際本部) 06(7167)8820 香港・深圳・上海・シンガポール・タイ・
 ベトナム・台湾・マレーシア

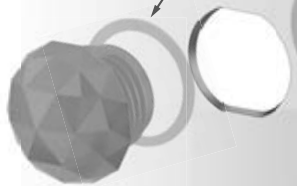
最新エレクトロニクスのフレキシブルな交差点 電子部品の総合商社



サトパツ
SATO PARTS

やさしく光る

防水ワッシャー使用時
IP65 (防水・防塵)
オプション ND-1000-W1






90V-220V AC/DC
5V-60V AC/DC

- 電圧・極性フリー
- カンタン取付
- IP65 (防水・防塵)

・防水ワッシャー使用時
・一部対応していない商品があります

Short movie



次世代表示灯 NDシリーズ162type 新発売！

展示会スケジュール

●CEATEC2026

期間 / 2026年10月13日(火)～16日(金)

場所 / 幕張メッセ

●電子機器トータルソリューション展2027

・ Electronics Component & Unit Show(ECU Show)

期間 / 2027年6月2日(水)～4日(水)

場所 / 東京ビッグサイト 東展示棟

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp